

弓削高 P T A 通信

「皆様と共に育む
弓削高校の未来」

P T A 会長

池本 拓也



おいては、皆様のお力添えがなければ達成できませんでした。本当にありがとうございます。

2期目となる今年度も、

生徒たちが弓削高校で充実した学校生活を送り、健康に成長できるよう、PTAとして可能な限りのサポートをして参りたいと考えております。

PTA活動は、保護者の皆様一人一人の御理解と御協力があってこそ成り立ちます。

弓削高校PTA会長の池本です。この度、皆様の御支援を賜り、会長として2期目を務めさせていただきましたことになりました。日頃よりPTA活動に御理解と御協力を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨年度は、先生方、保護者の皆様、そして地域の皆様の御理解と御協力のおかげで、精一杯活動を進めることができました。特に、文化祭でのPTAバザーに

PTA活動は決して特別なことではなく、生徒の笑顔のために、そして弓削高校の発展のために、私たち保護者ができる身近な地域貢献活動だと考えております。最後に、微力ではございます。

今年度、弓削高校はかつてないほどの活気に満ち溢れています。多くの新入生を迎え、全校生徒数は近年最大規模となり、そのエネルギーが学校全体を力強く動かしているようです。これからは、地域の皆様、保護者の皆様の温かい御理解と御協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

願い

生徒一人ひとりの可能性が花開く場所でありたい

校長

越智 真次

発行・印刷
弓削高等学校
P T A

さて、本校では昨年度の重点努力目標を「ふだんを少し、変えてみよう。人生大きく、変わるかも！」と定めました。これは、生徒たちが日常の小さな一歩を踏み出す勇氣を持ち、そこから予想もつかない大きな成長へと繋げてほしいという願いを込めたものです。例えば、授業で積極的に自分の考えを発信する、興味のある分野を深く探究してみる。そんな小さな変化が、きっと新しい自分との出会いを引き寄せるはずで

す。私たち教職員は、生徒一人ひとりの挑戦を全力でサポートいたします。また、昨年度から、役員の皆様を中心としたPTA活動は、まさに学校運営の心強い推進力となつていきます。文化祭をはじめとする様々な学校行事において、保護者の皆様の献身的な御支援は、生徒たちの学びの環境を大きく向上させてくださいました。地域社会との連携をさらに

い申し上げます。共に手を取り合い、未来を担う子供たちのために、私たち教職員と一緒に学校づくりを進めていただければ幸いです。

そして今、弓削高校は県下のみならず全国からも注目を集める、特色豊かな学びの場として進化を続けています。本校の魅力は、何と云って生徒一人ひとりの個性を大切に、きめ細やかなサポートができる小規模校ならではの温かさです。教職員と生徒の距離が近く、日々のコミュニケーションを通して、生徒の小さな変化にもいち早く気づき、適切なアドバイスを送ることができます。弓削高校には、生徒の興味や関心を深く掘り下げる、他にはない魅力的な学びのプログラムがあります。例えば、「しごと学」と位置づけ、地域特有の文化や産業を学ぶ体験学習、豊かな自然を活かしたフィールドワークを含む「上島町魅力発信学」、少人数だからこそできる丁寧な進路指導



新入生歓迎スポーツ交流会の様子

など、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すための様々な取り組みを行っています。（これらの様子は日々ホームページで紹介していますので、ぜひ毎日アクセスしてみてください！「めざせ1日1000アクセス」）

私たちは、生徒たちが本校での学びを通して、自分自身の興味や才能を発見し、未来を切り拓く力を育んでほしいと願っています。弓削高校は、生徒一人ひとりの夢を応援し、その実現を力強くサポートする学校です。どうぞ、愛媛県立弓削高等学校の可能性に御期待ください。

「就任に当たって」

P T A 副会長

中村 佳名子

今年度も昨年度に引き続き P T A 副会長を務めさせて頂く事になりました。

新年度が始まり、今年度は生徒 88 名でのスタートという事で、元気で賑やかな声がこだまする若いパワーの溢れる学校行事に参加するのがとても楽しみです。

生徒の皆さんが日々笑顔で充実した学校生活を送れるように先生や役員の方々と力を合わせて色々な活動をしていきたいと思っておりますので、今年度も御協力 of 程よろしくお願い致します。

「就任に当たって」

P T A 副会長

原山 美咲

今年度、P T A 副会長を務めさせて頂きまことにありがとうございました。このような大役を仰せつかっておりますが、精一杯務めさせていただきます。

地元出身の生徒が少ない中、全国各地から多くの生徒がこの学校を選び、遠く離れた地から学生寮を利用しながら学んでくれていることに、心から感謝の気持ちでいっぱいです。生徒たちが慣れない環境で学業に励む姿は、私たち大人にとつて大きな励みであり、尊敬の念を抱かずにはいられません。

高校生活は、これから社会へと羽ばたく大人になる一歩手前の、非常に大切な時期です。この多感な時期に、様々な経験を積んで成長していく生徒たちを、私たち大人は、あれこれ口を出すのではなく、そつと寄り添い、温かく見守る存在でありたいと考えています。時には困難に直面することもあるでしょうが、そのような時こそ、生徒たちが自らの力で乗り越えられるよう、適切なサポートを提供できるように心掛けていきたいです。

生徒一人ひとりの成長を温かく応援しながら、P T A 活動を通じて、学校の教育活動がより充実したものとなるよう、微力ながらも力の限りを尽くして参ります。

学校、保護者、地域が一体となつて、生徒たちにとって最高の学びの場を築き上げていけるよう、皆様の御理解と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「就任に当たって」

P T A 副会長

田名後 未来

今年度、P T A 副会長を務めさせて頂くことになりました。

本校は、今年も全校各地から多数の生徒が入学しました。地元の生徒ともお互い触れ合うことで、多くの刺激を受けることと思います。視野を広げながら良いところを吸収し、成長していくてくれることを期待しています。

そして地域の方々とも色々な行事で交流する機会が増えます。多くのことを教えて頂きながら、人の温かみを感じられる経験ができればと思っています。

保護者の方々、地域の方々、先生方と協力し、生徒たちが楽しく有意義な学校生活が送れるよう、微力ながら取り組んで参ります。

1年間よろしくお願いいたします。



総合的な探究の時間の様子

「青年は……」

教務課長

横内

悠人

「乳児はしっかりと肌を離すな。幼児は肌を離せ、手を離すな。少年は手を離せ、目を離すな。」山口県で教鞭を執られていた緒方甫（はじめ）さんの言葉です。小学校教育を専攻して、大学の授業では、子どもをしつかり「見る」ことの大切さを学びました。子どもは小学校入学から卒業までの間に「幼児」から「少年」へと成長していくもので、徐々に手を離し、目を離さない（見る）ことを大切に

されている小学校の先生方と多く出会い、高등학교で勤めるようになってからも、この考え方は私にとって一つのしるべとなっています。

冒頭の言葉は「子育て四訓」と呼ばれ、続きがあります。「青年は目を離せ、心を離すな。」三月に巣立った卒業生は、私が弓削高校へ着任すると同時に初めて担任をさせていただいた生徒たちでした。心は離さず目を離そう、と思っていながらも、いろいろな口を出してしまつた二年間でした。本当に四訓目が達成されたのは、最後の一年間だけだったように思います。

「少年」から「青年」への過渡期にあたる高校生は、目を離したくなくとも離してしまう（離れてしまう）ことが多くなるのではないのでしょうか。本校は親もとを離れて生活している生徒も多く、またそうでなくとも、お子様に目が届かなくなっていくことが増え、不安が勝つことも

あると思います。私は、「目を離す」ということは、決してほつたらかしのすることではなく、離れたところから／間接的に見守ることであると考えます。「やってみなさい、できると信じているから」、「困ったときは頼りなさい、いつでも力を貸すから」——直接目を向けることは少なくとも、そういったメッセージを送り続けることで「青年」は「大人」へと成長することができると、この春卒業した生徒たちが教えてくれました。これから保護者の皆様と情報や思いを伝え合いながら、お子様と心を離さず関わっていききたいと思



遠隔授業配信の様子

「生徒の

進路実現に向けて」

進路課長

越智

雅之

進路を担当している越智雅之と申します。お子様たちは日々、部活動や勉強に励み、将来に向けて大きく成長しています。今回はお子様の進路について、「①令和8年度大学入学共通テスト」と、「②進学・就職という選択肢」についてお伝えしたいと思っています。

①今年度の大学入学共通テスト（以下、共通テスト）は、令和8年1月17日（土）、18日（日）の2日間に渡って実施されます。共通テストの出題科目は、国語・地理・歴史・公民・数学・理科・外国語・情報の7教科からさらに細分化された21科目で構成されます。この中から、最大9科目を受験できます。受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験することになります。また、今年度からの大きな変更点として、「出願

の手続きが電子化」されます。進路課が手続きのサポートをしていくのでご安心ください。

②お子様の進路を考える際、「進学」と「就職」が大きな二つの柱となります。進学は、より専門的な知識を深めたり、将来の選択肢を広げたりする上で大きなメリットがあります。一方、就職は、社会に出てすぐ実践的な経験を積むことができ、早期に経済的な自立を果たすことができます。どちらの道を選ぶにしても、それぞれの良さを理解し、お子様の個性や興味、将来の目標に合った選択をすることが何よりも大切です。

お子様がどのような未来を描いているのか、是非ご家庭でじっくりと話し合う時間を持つてみてください。お子様が何を大切にしたいのか、どんなことに喜びを感じるのか、保護者の皆様は、温かいサポートが、お子様にとって最良の選択へと繋がるはずです。

今年度も「ゆめしま魅力課」を担当させていただき、3年目を迎えることとなりました。昨年度は総合的な探究の時間発表会や地域イベント等を通じ、皆様の温かい御支援を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。

2年目を迎えた生徒寮「ゆめしま寮」には、第二期生として11名が入寮し、現在は計23名が寮生活を送っています。今年度も因島を除く県外から14名が入学し、弓

「広がるつながり、
深まる学び」
ゆめしま魅力課長
川上 裕大



起業部主催「ゆげこうフェスタ」

今年度から、総合的な探究の時間が週1時間へと拡充され、学びの質のさらなる向上が期待されます。地域との結び付きを一層深めながら、これまで以上に多様な活動に積極的に取り組んで参ります。弓削高校の魅力を活かして、弓削高校の魅力をより多くの方に知っていただけるよう努めて参ります。

今年度から、総合的な探究の時間が週1時間へと拡充され、

削高校には愛媛・広島を含む「16」の都府県から生徒が集うようになり、校外出身の生徒が増え、校内外の雰囲気もますます活気づいています。この多様性は、互いの価値観に触れる貴重な学びの場を生み出し、個々の個性がさらに広がっていく新たな段階に入っていると実感しています。

今年度も「地域みらい留学」に参画し、オンライン説明会には在校生も参加しています。寮生活の実際を語ることで、中学生が将来の学校生活をもっと具体的にイメージしやすくなっているようです。さらに、県内の魅力化推進校が連携し、合同説明会を企画しており、県内外問わず幅広い生徒募集を進めています。こうした多面から、弓削高校の魅力をより多くの方に知っていただけるよう努めて参ります。



毎週月曜日の午前中は「English Day」として、生徒も教員も英語を使って会話をしています。昨年から始まった取り組みで、生徒たちも英語で会話することに慣れてきている印象です。

- (今後のPR活動予定)
- 体験入学会①
7月25日(金)
 - 体験入学会②
11月1日(土)

今後のPTA関連行事予定

- 9/6(土) 運動会
- 9/30(火) 第2回PTA役員会
- 11/1(土) 文化祭
- 12/17(水) ~19(金) 2学期保護者懇談会
- 2/18(水) 第3回PTA役員会



令和7年度PTA総会

PTA新役員紹介

会長
副会長

会計監査

- | | | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 池本 拓也 | 中村 佳名子 | 原山 美咲 | 田名後 未来 | 河本 大造 | 能地 理恵 | 香川 加奈 |
|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|

PTA地区役員

上弓削・引野・明神・佐島・魚島

下弓削

- | | | | | | | | | | |
|----|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 生名 | 青木 麻衣 | 北舛 亜紀 | 香川 加奈 | 濱田 亜紀子 | 原山 美咲 | 田名後 未来 | 柏原 清香 | 神谷 聖美 | 笠 健次郎 |
|----|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|

1年間
よろしくをお願いします。